


## 学会成果報告書

学会名	第 13 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会		
大会長所属	埼玉医科大学 総合診療内科 教授		
大会長氏名	中元 秀友		
テーマ	連携で生きる腎臓リハビリテーション		
開催日	2023 年 3 月 18 日（土）・19 日（日）	参加人数	1,485 名
場所	大宮ソニックシティ		
<p>学会サマリー</p> <p>本学術集会は 2023 年 3 月 18・19 日に埼玉県の大宮ソニックシティにおいて、「連携で生きる腎臓リハビリテーション」をメインテーマとして開催された。このテーマは腎臓リハビリテーション学会が多職種のチーム医療でより生きてくることが、チーム連携を話題の中心に考えたもので、多くの参加者と活発な議論ができることを期待して掲げたものである。</p> <p>セッション数は 74 を数え、(大会長講演 1、理事長講演 1、特別講演 6、会長企画シンポジウム 1、学術委員会企画 1、シンポジウム 10、ジョイントシンポジウム 10、国際腎臓リハビリテーション学会第 3 回学術集会 1、教育講演 13、よくわかるシリーズ 12、HOW TO SESSION2、YIA セッション 1、共催シンポジウム 2、モーニングセミナー1、ランチョンセミナー11、スイーツセミナー1) 内容も AI・IoT、ロボット工学、医療経済、ジムでの運動療法など、多岐にわたるものであった。一般演題数も 175 演題(口演 127、ポスター48)を集めることができた。</p> <p>他の多くの学会同様、COVID-19 の動向を注視しながら準備を進めてきたが、幸いにも COVID-19 の規制緩和が見直されたことが追い風となり、懇親会の開催は見送ったものの、COVID-19 以前の学術集会により近い形で執り行うことができた。2022 年の診療報酬改定において、透析患者の透析リハビリテーションに新たな加算が認められるという大きな進歩の中で、対面での議論ができたのは、大変有意義であったと考えている。</p>			